

# 物語の世界観に

浸りながらなぞり書き

遠方からの恋文

遠き所より  
思ふ人の文を得て、  
かたく封じたる  
続飯など開くるほど  
いと心もとなし

遠の所から恋人の手紙が届いて、早く読みたいのに、封が糊で固く閉じられて、なかなか開けられない。それを開けるまでがとっても、  
読みたいのです。

作品解説を読むことで、

物語を知る楽しさも

同時に味わうことができる

他にはない一冊

ガラスペンでなぞる 恋する古典 源氏物語と枕草子篇  
赤間恵都子 監修・ryuku イラスト／実務教育出版